


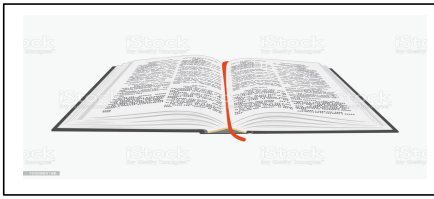


【はじめに】

1. 本日の説教の鍵句(キーワード)は「(恵みの)契約」です。(ヨブは創世記後半の族長時代に、アラビア砂漠東北部にいた非イスラエル人。)ヨブは「恵みの契約」(ヨブ 41:4) で結ばれたく主のしもべ (ヨブ 1:8a, 2:3a, 42:7, 8)。その証拠に、<主> (ヘブル語でヤーウェ。新改訳旧約聖書は太字で主と表記。ヨブ記には 31 回記載)の表記はヨブとの関係でのみ記載。(ヨブの友人たちには該当していない。)
2. 前回(昨年8月15日の主日礼拝で)学びましたとおり、既存の宗教は(洋の東西を問わず)因果応報を説きます(ヨハ 9:2 他)。ヨブは苦難に遭い、友人たちに過去の罪ゆえと責められる中で、神である主の御前で、私たちをとりなす<保証人>(16:19)、<贖う方>(19:25, 26)を信仰の目で仰ぎ<見>る(42:5, 6)のです。【注】前回の学びで、この箇所がヨブ記における頂点(富士山に例えれば山頂)と解説しました。
3. 主は、<義人は信仰によって生きる>(ロマ 1:17 他)すなわち、人生において何が起ころうとも、イエス・キリストへの信仰によって生きることを教えています。そのためには、旧新約聖書を貫く教えである、「契約」を理解することが大切です。そこで、今回は「恵みの契約」に与っているキリスト者の幸いを中心に学びます。

【“契約”のことばの理解・整理が必要】※聖書が教える“契約”には2種類あります。

旧約聖書	わざの契約 アダム契約 (創 2:16,17)	■創 2:16 <神である主は人に命じて仰せられた。「あなたは、園のどの木からでも思いのまま食べてよい。2:17 しかし、善悪の知識の木からは取って食べてはならない。それを取って食べる時、あなたは必ず死ぬ。」> アダムには神との契約を守る義務があったが、契約を破り、アダムは死ぬことになった。 <u>「わざの契約」は私たちの一般社会の契約と同じ。双方に義務を負い合う。</u> 
新しい契約 / 恵みの契約	ノア契約 (創 9:9-17) アブラハム契約 (創 17 章) シナイ契約 (モーセの律法) (出 34:27 他) ダビデ契約 (IIサム 7 章)	■申 7:9 <主を愛し、主の命令を守る者には恵みの契約を千代までも守られ (中略) 恵みの契約をあなたのために守り> <u>「恵みの契約」に求められるのは神に対する誠実な「応答」(信仰)のみ。</u> ■出 34:27 <主はモーセに仰せられた。(中略)あなたと、またイスラエルと契約を結んだ。> ■ <u>恵みの契約は「契約の血」によって結ばれた。</u> 出 24: 7, 8 <そして、契約の書を取り (中略)「見よ。これは、これらすべてのことばに関して、 <u>主があなたがたと結ばれる契約の血である。</u> > ■イスラエル民族は <u>恵みの契約を捨てた。</u> ■そこでエレミヤは預言した。エレ 31:31 <見よ。その日が来る。—主の御告げ—その日、わたしは、イスラエルの家とユダの家とに、 <u>新しい契約を結ぶ</u> > 

		<p><b>【補足説明】</b>旧約聖書（ヘブル語）で用いられている「契約」は「ベリース」。旧約聖書をギリシャ語に訳した『70人訳聖書』では「ベリース（契約）」の訳語として「<b>ディアセーケー</b>」をあてた。よって新約聖書（ギリシャ語）も同じ「ディアセーケー」である。 ■なお、ギリシャ語では、結婚など双方が合意して義務を負い合う契約は「スンセーケー」（英語 Contract）。<b>「ディアセーケー」（英語 Testament/Covenant）は一方的な提示によって結ぶ契約。遺言も同じ言葉である。</b>遺言は両者の合意によって結ばれるのではない。遺言は受け入れるか拒むかどちらかしかない。（引照付き聖書をお持ちのかたは、ヘブル9:16,17の欄外注を見るなら、そこに「契約」とは「遺言」と同じ言葉であると説明している。）</p>
<p>新約聖書</p>	<p>仲保者イエス・キリストへの信仰による<b>「新しい契約」</b>（マタ26:28. マル14:24. ルカ22:30. Iコ11:25）</p>  <p>shutterstock.com · 363241589</p>	<p>■聖餐式で毎回朗読されている聖句⇒ルカ22:20&lt;「この杯は、あなたがたのために流されるわたしの血による新しい契約です。&gt; ■旧約聖書における契約は、神とイスラエル民族だけに交わされた契約であると理解されていた。⇒エペ2:12,13&lt;そのころのあなたがたは、キリストから離れ、イスラエルの国から除外され、<b>約束の契約</b>については他国人であり、この世にあって望みもなく、神もない人たちでした。（中略）<b>キリストの血によって</b>近い者とされたのです。&gt; ロマ4:13&lt;というのは、世界の相続人となるという約束が、アブラハムに、あるいはまた、その子孫に与えられたのは、律法によってではなく、<b>信仰の義によった</b>からです。（中略）アブラハムは私たちすべての者の父なのです。&gt;</p> <p>■<b>旧約聖書を英語で、Old Testament、新約聖書を英語で New Testament</b>と言うのは、<b>聖書は神と人との契約の書であること、そして、イエス・キリストによって、恵みの契約が成就したことを表わす。</b></p>  <p>（日本では『恵みの契約』を、『聖契』と表現する教会や団体もあります。）</p>

**【主との「恵みの契約」で結ばれていたヨブ】**

1. <主はサタンに言われた。「おまえは、**わたしのしもべヨブ**に心を留めたか。> (1:8a)。<主はサタンに言われた。「おまえは**わたしのしもべヨブ**に心を留めたか。> (2:3a)。<主はテマン人エリファズに言われた。（中略）**わたしのしもべヨブ**のように、わたしについて確かなことを語らなかったからだ。> (42:7b, 42:8b)

**【注】**（上述したとおり）<主のしもべ>とは固有名詞で、**主**（ヤーウエ）との「**恵みの契約**」で結ばれた者の呼称。**他の事例**→ ■<主はその夜、（中略）**わたしのしもべアブラハム**のゆえに。> (創26:24) ■<**主のしもべモーセ**> (申34:5, ヨシ1:1他) ■<**主のしもべ、ヌンの子ヨシュア**> (ヨシ24:29, 士2:8) ■<**主がそのしもべティシュベ人エリヤ**に> (II列9:36) ■<**主は、そのしもべである預言者た**

ちに> (Ⅱ列 21:10) ■わたしのしもべダビデに言え。> (Ⅱサム 7:5) 等々。

2. 私たちは、私たちを試みにあわせないで、悪からお救いください> (マタ 6:13/『主の祈り』の第6の祈願) といつも祈ります。と同時に、苦難に遭うことによってしか体験できない、主の恵みの取り扱いを受けることもまた事実です。ですから両者は矛盾しないのです。 (ロマ 5:3 以下) ⇒ 「ヨブは人生の諸問題の解答を得ることより、むしろ神様ご自身を必要とすることを悟ります。」 (『リビングバイブル』 (いのちのことば社. 1983 年. 528 頁/ヨブ記の解説文))
3. ヨブも、**主** (ヤーウェ) との「恵みの契約」で結ばれていたのです。冒頭に記したとおり、**(1)** ヨブ記に記載された**主** (ヤーウェ) > (31 回記載) は、ヨブに関する記述のみ。3 人の友とエリフの場合は**神**>とだけ記述され、「恵みの契約」については、与り知らない。**(2)** わたしのしもべヨブ> (1:8.2:3.42:7,8.) という呼称は、**主**との特別の関係を意味する。
4. 新約聖書における新しい契約>の強調 (ルカ 22:20. I コリ 11:25. II コリ 3:6. ヘブ 8:8. 9:15 等) は、神の御子、主イエス・キリストが、旧約聖書で預言された新しい契約>を、十字架の贖いにより、成就されたゆえ。
5. あなたも、神に対する自分の罪を悔い改め、十字架と復活の、神の御子、主イエスへの信仰を告白するなら、その時から主イエスの御名によって新しい契約>に与り、救われる (救われている) のです。 (ロマ 10:9, 10 他)
6. 最後の晩餐の席で聖餐式をお命じになった主イエスの御言葉の意味。この杯は、あなたがたのために流されるわたしの血による新しい契約です。> (ルカ 22:20/並行箇所マタ 26:28. マル 14:24. I コリ 11:25) ⇒ 『詳約聖書』では、私の血で批准される新しい遺言《契約》である>と意識。) ■キリスト者が定期的に聖餐式に与るのは、式自体に意味があるのではなく、主イエスとの新しい契約>の恵みを絶えず覚えるため。【注1】詳訳聖書 (いのちのことば社. 1962 年) I コリ 11:25 「この杯は私の血によって [批准され、締結される] 新しい契約です。 [これを] 飲むたびに、私を [愛情をもって] 覚えるために、このように行いなさい。」【注2】「聖餐式に陪餐できる条件は、新生したキリスト者であることと、キリストに服従する生活を求めていること。」 (H・シーセン著『組織神学』706 頁.いのちのことば社.1961 年) 健全で揺るがないキリスト者生活のためには、「新しい契約」の理解と確信が不可欠。
7. あなたが、神に対する自分の罪を悔い改め (すなわち、方向転換し)、神の独り子、十字架と復活の主イエス・キリストを、ご自分の主と信じ告白するなら、あなたも新しい契約に招かれ、与っているのです。 ■新しい契約に与る条件は、自分の罪の悔い改めと、十字架と復活の、神の御子イエス・キリストへの信仰。 (ロマ 10:9, 10. ヘブ 8:8, 13. 11 章他) ■神が何故、滅びるべき罪びとである私自身を救って下さる (下さった) のか、私たちには分かりません。主の憐みゆえの選びと召しゆえ。 (I コリ 1:26-31 他)

“何ゆえ御神はかかる身をも、神の子とせしか知るを得ねど、我がより頼む主は委ねたる身と魂 (たま) を、守り得たもうと確信するなり” (聖歌 450 番 1 節)

【補足】 ■ヨブの苦難は、私たち読者は不条理に思えるかも。特に1章で7人の息子と3人の娘を亡くしたことは、当事者でなければ分かり得ぬ、癒しがたい悲しみでした(1:20)。ヨブ記42章の終幕(エピローグ)にはヨブの回復が記され、<主はヨブを元どおりにされた。さらに主はヨブの財産をすべて、二倍にされた>(42:10b)、<主はヨブの後の半生を前の半生に増して祝福された>(42:12a)とありますが、財産が倍に増え、新たに7人の息子と3人の娘が与えられたことで、ヨブの悲しみがすべて癒されたわけではありません。ヨブが体験した真の慰めは、主ご自身を知ったことにあります。(⇒42:17. ヤコブ 5:11)

【事例】 “日本のヨブ”と呼ばれた内村鑑三は、18歳の長女ルツ子も亡くしたあと、次の詩を記しました。

われら よにん として いまおよにん である、こせきちょうぼ ひとり のな は 消え、しかく  
食台の いっぽう は 空しく、しよがっしょう いちぶ は 欠けて、さんび ちょうし みだ いえど  
われら いまおよにん である、さんど しょくじ くうせき で き たが、のこ さんにん した な  
彼女は いま われら うち い ひとり さんにん しば あい きずな しゅ ふたた このち くだ たま  
ふ時、あたらしきエルサレムが てん より くだ とき われら ふた よにん になるのである。

(『内村鑑三全集』第9巻. 岩波書店. 1933年. 46頁)

【結び】 いま、あなたに求められていること。それは、<義人は信仰によって生きる>(ロマ1:17. ハバクク2:4. ガラテヤ3:11. ヘブル10:38)。 此処に、ヨブ記そして、聖書全体のメッセージがあるのです。

### 【補遺/未信者のかたが、主イエス・キリストを信じ受ける時の、祈りの事例】

「神さま、私は罪びとです。自分で自分を救うことはできません。今、私の罪の身代わりとして十字架にかかり、三日目に甦ってくださったイエス・キリストを、私の救い主、また主として心に迎えます。私のすべての罪を赦し、新しい豊かないのちに歩ませてください。これから罪を捨て、キリストに従っていきます。キリストの御名によって祈ります。アーメン」(総動員伝道発行小冊子『大いなる救い』より)

■神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに、世を愛された。それは御子を信じる者が、一人として滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。

(ヨハネの福音書 3:16)

■主イエスを信じなさい。そうすれば、あなたもあなたの家族も救われます。

(使徒の働き 16:31)

■なぜなら、もしあなたの口でイエスを主と告白し、あなたの心で神はイエスを死者の中からよみがえらせたと信じるなら、あなたは救われるからです。人は心に信じて義と認められ、口で告白して救われるのです。聖書はこう言っています。「この方に信頼する者は、だれも失望させられることがない。」(ローマ人への手紙 10:9-11)

(八尋 勝:記)